

中国：2019年1～3月の自転車製品の 生産・輸出入状況について

現在中国の自転車産業は、中国国内関連では共用自転車向け需要の急激な減少、電動自転車の新しい国家標準の実施、対外的には米中貿易摩擦による追加関税賦課、など非常に重要な課題に直面している。

こうした中、中国の自転車関係団体は統計数値を基とした客観的な現状報告を行っている。重要課題への対応を背景として、積極的な状況報告に努めているように見受けられる。

中国自転車協会は2019年1～3月期の自転車製品の生産及び輸出について、機電商会(中国機電産品輸出入商会)は2019年1～3月期の自転車製品の輸出入状況について、相次いで報告を行った。

1. 中国自転車協会

中国自転車協会は5月25日に当該期の自転車・電動自転車の生産及び輸出状況を発表した。

それによると、一定規模以上の自転車企業(その年の主な業務による売上高が2,000万元以上の工業企業)の当該期の自転車生産台数は対前年同期比8.1%減となったものの、一定規模以上の電動自転車企業の電動自転車生産台数は対前年同期比21.3%増となった。

また自転車完成車輸出について、輸出台数は対前年同期比15.0%減、輸出金額は対前年同期比16.2%減、輸出平均単価は対前年同期比1.3%下落、一方自転車部品輸出金額は対前年同期比5.6%増、とのことである。

中国自転車協会は、1～3月期の状況は基本的に事前予想に合致しており、自転車製造業は共用自転車のもたらした悪影響から次第に抜け出しつつあり、収益力も徐々に回復してきている。また、電動自転車製造業は昨年からの増勢が続いており1～3月期の生産台数は比較的大きく増加した、と総括している。

対米輸出について、1～3月期の米国向け自転車輸出台数は対前年同期比37.6%減、輸出金額は対前年同期比42.3%減、この結果、米国は輸出金額の順位で第二位に下がり日本が第一位に躍り出た、と指摘している。

詳細について、関心のある方は以下の発表文書を参照していただきたい。

中国自転車協会発表文書

<http://www.china-bicycle.com/News/View/adbbd6f0-b9fa-49b8-87ff-dd07b7c56071>

2. 機電商会(中国機電産品輸出入商会)

これに先立ち、機電商会も5月24日に2019年1～3月期の自転車製品の輸出入について報告を行った。

それによると、2019年1～3月期の中国の自転車及び自転車部品の輸出金額は、対前年同期比7%減、一方輸入金額は、対前年同期比24.6%減、とのことである。

更に米中貿易摩擦に関して、米国の中国製品に対する追加関税賦課により対米輸出は難しい局面を迎えており、2018年10～12月期の米国向け輸出額は対前年同期比で4.4%増加したものの、12月単月では同26.3%減少した。2019年1～3月期の輸出は引き続き減少が続

き対前年同期比 38.8%減となり、米国向け輸出金額は過去最低を記録した、と報告している。

やはり詳細について、関心のある方は以下の発表文書を参照していただきたい。

機電商会発表文書

<http://www.cccme.org.cn/news/content-311206.aspx>

以 上